

小児科学2

総論2

小児の栄養、フィジカルアセスメント、
倫理

栄養(1)

- エネルギー必要量
 - 0～5か月 : 91～98kcal/kg/day
 - 6～11か月 : 80kcal/kg/day
 - 1～2歳 : 86～88kcal/kg/day
 - 3～5歳 : 78～83kcal/kg/day
 - 6～7歳 : 67～72kcal/kg/day

栄養(2)

- タンパク質摂取の目安
 - 0～5か月 : 1.5～2.3g/kg/day
 - 6～11か月 : 1.7～2.3g/kg/day
 - 1～2歳 : 1.7～1.8g/kg/day
 - 3～5歳 : 1.5～1.6g/kg/day

栄養(3)

- 母乳保育
 - 母親と乳児が皮膚で触れ合う自然の姿
 - WHO、UNICEF:「母乳保育を成功させるための10か条」
 - ビタミンK不足: 新生児期にビタミンKの投与

栄養(4)

- 離乳
 - 母乳または育児用ミルク等お乳汁栄養から幼児食への移行する過程
 - 離乳の完了: 12~15か月ころ
 - 母乳: 約70kcal/100ml
 - 固形食
 - ブドウ糖: 4kcal/g
 - タンパク質: 4kcal/g
 - 脂肪: 7kcal/g

フィジカルアセスメント(1)

- バイタルサイン

- 体温：腋下検温、日内変動

- 心拍数：橈骨動脈で測定

- 呼吸数：

- 新生児・乳児：腹式呼吸、

- それ以後：胸式呼吸

- 血圧：カフの幅は上腕周囲長の2/3以上

フィジカルアセスメント(2)

- 心拍数と呼吸数

- 新生児 呼吸30～60 心拍90～180

- 乳児 呼吸25～45 心拍80～140

- 幼児 呼吸20～30 心拍70～110

- 学童 呼吸14～20 心拍60～90

JCS (1)

- Japan Coma Scale

- 覚醒 (1 ケタ)

- 1 : 意識清明でない
 - 2 : 見当識障害
 - 3 : 名前、生年月日がいえない

JCS(2)

- Japan Coma Scale

- 刺激で覚醒(2ケタ)

- 10: 呼びかけで容易に開眼
 - 20: 大きな声、体を揺さぶると開眼
 - 30: 痛み刺激でかろうじて開眼

JCS(3)

- Japan Coma Scale
 - 刺激で覚醒せず(3ケタ)
 - 100: 払いのける動作
 - 200: 手足を動かしたり、顔をしかめる
 - 300: まったく動かない

小児の死因1位

- 0歳：先天奇形、変形および染色体異常
 - 1～4歳：不慮の事故
 - 5～9歳：不慮の事故
 - 10～14歳：不慮の事故
-
- こどもの事故が死因でトップであり、安全対策が必要

小児医療での倫理的問題

- 親権：満20歳未満は、婚姻時を除いて親権に服する
- インフォームドコンセント：未成年であっても治療行為の決定にあたって患者自身の自己決定権に配慮すべき（遺言は15歳以上で可能）
- 未成年者と親権者との意見の相違
 - 人工妊娠中絶、輸血（エホバの証人）